

継承される庭園

100年以上続く旧宅の庭を後世へ残してほしい。

今回の計画はそんな先代の遺言から始まりました。代々続く旧宅の庭を活かした住空間作りをコンセプトとし、

旧宅の数寄屋建築の伝統を残しながら現代的に融合したデザインとしました。

オーナー様ご自身もそして入居者にもお庭を楽しんでもらいたい。

歴史ある旧宅の雰囲気を引き継ぐオーナー様のセカンドハウス付き3階建て集合住宅の計画です。



配置計画のポイント

旧宅のお庭を利用するため、建物は旧宅と同じ位置へ配置。入居者がお庭を楽しめるように西側に共用ラウンジを設けました。旧宅の雰囲気を壊さないように既存塀をそのまま利用し、セカンドハウスには、本計画より東屋を新設。今までは眺めることが中心であったお庭から、一歩中へ入って緑を楽しみながら、コミュニケーションを取ることができる空間を新たに計画しました。前面道路からは広い駐車場とエントランスへ続く植栽豊かなメインアプローチが続き、入居者をあたたかく迎え入れます。計画敷地は周囲を戸建て住宅、2階建て賃貸住宅に囲まれた閑静な住宅街です。今回ご提案する建物配置は、まちの人々に美しい景観を提供するとともに、安全性に配慮しながら光と風をうまく取り入れた開放的な空間づくりがポイントになると考えます。



東屋



カーポート付駐車場



全体平面図



東立面図

気持ちよく風が抜ける窓。

やさしく自然光を取り込み、窓から見える空と一面に広がる緑に内部からも和の心地よさを感じます。そこから見える景色はここに住まう人だけの特別な絵画となり、四季とともに味わい深く変化していきます。この先も建物と一緒にまちなみを彩り続けます。



北立面図



南立面図

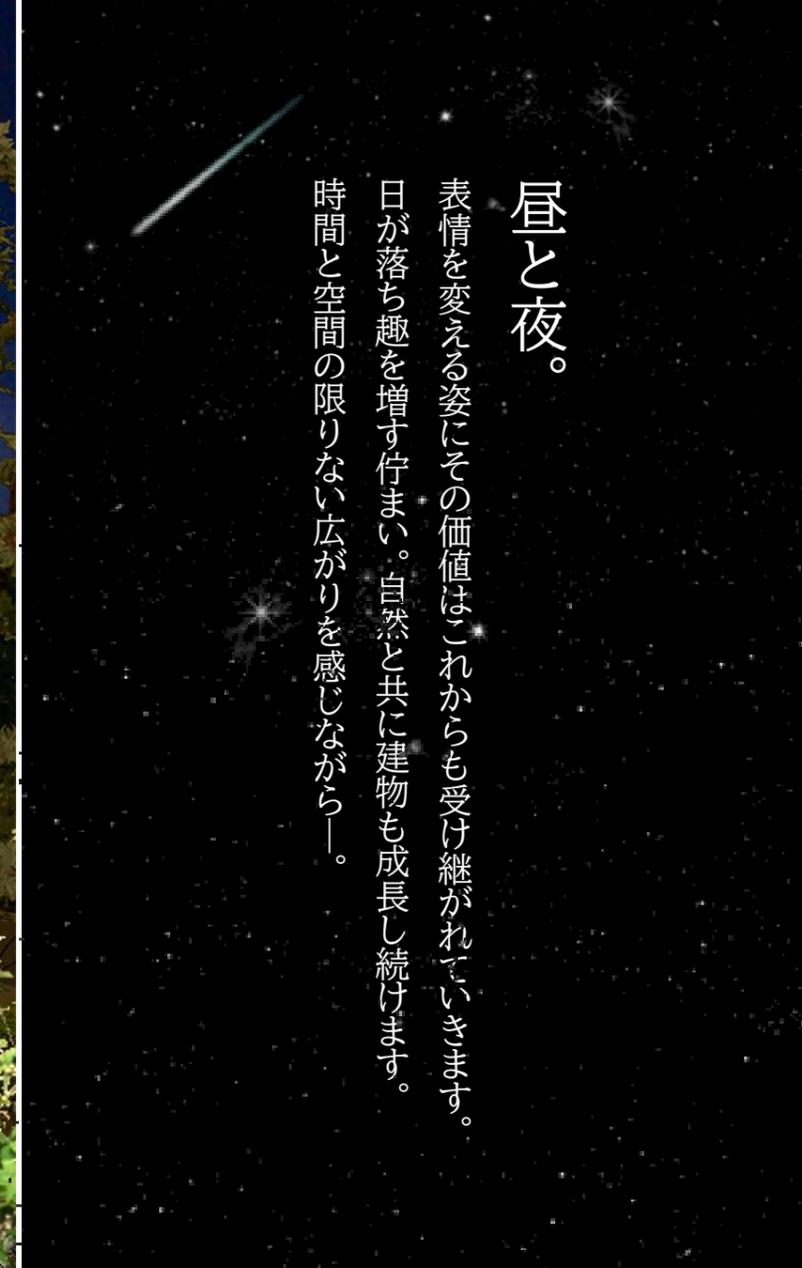


共用ラウンジ

1. 建物内に光や風、緑の眺めをもたらす中庭は、プライバシーを保ちながら開放感や外気の爽やかさを楽しむのに効果的。屋内空間とつながりが生まれるよう工夫しました。
2. 風除室を抜けると一番に目にする光景。障子から漏れる光が入居者をあたたかく迎え入れます。天井は無垢材、床は大谷石とし、古来より日本人になじみのある仕上げとしました。入居者にしか味わうことのできない特別な空間です。
3. 数寄建築の旧宅の雰囲気を残し、和の伝統を重んじながら和の落ち着きを現代風にアレンジ。カウンターから自然の美しさを楽しむことができるように豊かな緑を配した空間に仕上げました。季節を感じるひとときは、日々の生活に安らぎや潤いをもたらします。外と中をつなぐ中間領域を利用してもらえる仕上げとしています。洋風のイメージが強いラウンジの再解釈となりました。

	2
1	3

共用ラウンジ



昼と夜。

表情を変える姿にその価値はこれからも受け継がれていきます。
日が落ち趣を増す佇まい。自然と共に建物も成長し続けます。
時間と空間の限りない広がりを感じながら。



ベンチ

アプローチを進んだ先には木製のベンチがあります。
人を待ったり、休息したり。使い方は人それぞれ自由です。



共用ラウンジ

夜になるとゆるやかに灯りがとまり、住む人に深い安らぎと充足感をもたらします。
静寂の中で入居者がゆったりと時間を過ごすことができるラウンジとなりました。



東屋

夜の東屋は昼とは違った雰囲気を楽しむことができます。
心地よい夜風を感じながら空や緑を楽しむことのできる空間です。